

製品名: SNAP 25 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18044**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 25kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | SNAP-25 |
| 別名 | SNAP25; SNAP; Synaptosomal-associated protein 25; SNAP-25; Super protein; SUP; Synaptosomal-associated 25 kDa protein |
| 遺伝子 ID | 6616.0 |
| SwissProt ID | P60880 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト SNAP25 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200 |

背景

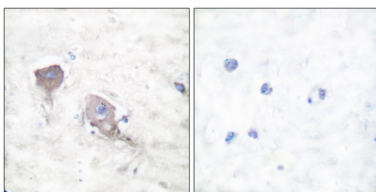
シナプス小胞膜のドッキングと融合は、小胞膜 (v-SNARE) と標的膜 (t-SNARE) に位置する SNARE (可溶性 N-エチルマレイミド

感受性因子付着タンパク質受容体) によって媒介されます。組み立てられた v-SNARE/t-SNARE 複合体は4つのヘリックスからなる束で構成され、そのうち1つはv-SNAREによって、残りの3つはt-SNAREによって供給されます。細胞膜上のt-SNAREでは、タンパク質シンタキシンが1つのヘリックスを供給し、この遺伝子によってコードされるタンパク質が残りの2つのヘリックスを供給します。したがって、この遺伝子産物は、神経伝達物質放出の調節に関与するシナプス前細胞膜タンパク質です。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする2つの代替転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替製品: アイソフォームは、位置56~94をコードし、39の位置のうち9つの位置のみが相違する2つの代替相同エクソン(5aおよび5b)の使用によって異なります。機能:t-SNAREは神経伝達物質放出の分子調節に関与しています。特定の神経系のシナプス機能において重要な役割を果たす可能性があります。小胞ドッキングおよび膜融合に関与するタンパク質と関連しています。CENPFとの相互作用を介して細胞膜のリサイクリングを調節します。、その他:タンパク質のパルミトイル化が起こらない大腸菌でクローン化および発現させると、タンパク質配列中のCys-85、Cys-88、Cys-90、およびCys-92が代わりに鉄硫黄クラスターを容易に形成します。、PTM:パルミトイル化されています。Cys-85が主要部位と考えられ、膜結合にはパルミトイル化が必要です。、類似性:SNAP-25ファミリーに属します。、類似性:2つのt-SNAREコイルドコイル相同ドメインを含みます。、細胞内局在:膜結合にはパルミトイル化が必要です。細胞質全体に発現し、核周縁部に集中しています。、サブユニット:SNAP25、VAMP2、およびSTX1Aを含むSNAREコア複合体の一部です。この複合体はCPLX1に結合します。CENPF、TRIM9、RIMS1、SNAP25BP、OTOF、およびHGSと相互作用します。STXBP6に結合します。STX1AおよびVAMP8との三元複合体として存在します。SYT1、SV2B、シンタキシン-1を含む複合体中に存在します。、組織特異性:大脳新皮質、海馬、梨状皮質、前視床核、橋核、小脳顆粒細胞のニューロン。、

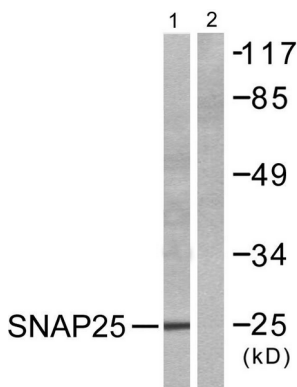
研究分野

小胞輸送におけるSNARE相互作用;

画像データ



SNAP25抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30 μ l で処理した Raw264.7 細胞のライセートを SNAP25 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。